亀田製菓株式会社

ダイジェスト版

INTEGRATED REPORT 亀田製菓グループ 統合報告書 2026



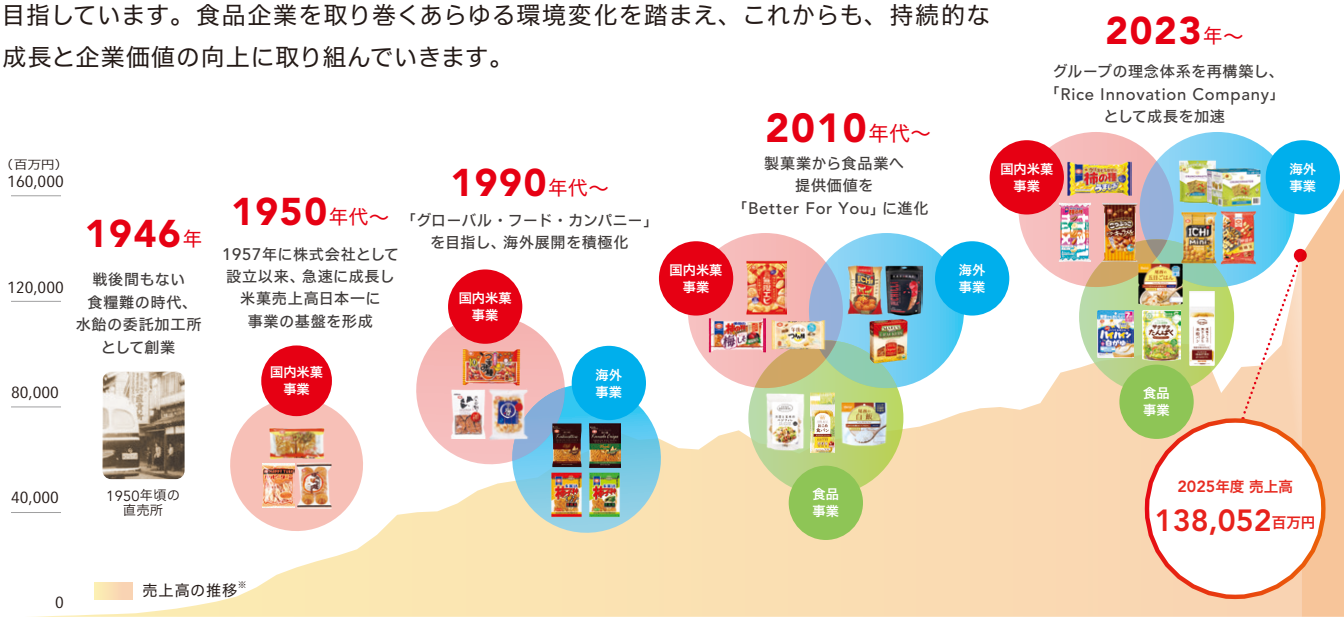
Top Message

当社は、「Rice Innovation Company」の実現に向け、グローバル企業への変革を進めています。コアコンピタンスをあらためて明確化し、その強みを「国内米菓」「海外」「食品」の各事業へ展開することで、新たな価値創造と成長機会の拡大に取り組んでいます。さらに、成長投資の成果創出に向けて、グループ全体で価値創造力を高め、企業価値の向上を目指しています。これからも、お米の可能性を最大限に引き出し、持続的な成長と企業価値向上を実現していきます。



価値創造のあゆみ

戦後間もない食糧難の時代、「人々の生活に喜びと潤いを届けたい」という想いで水飴をつくり始めたことから、亀田製菓グループの歴史は始まりました。
お米の恵みを美味しさ・健康・感動という価値に磨き上げ健やかなライフスタイルに貢献することを亀田製菓グループの存在意義とし、世界の人々に愛され、信頼されるブランドを目指しています。食品企業を取り巻くあらゆる環境変化を踏まえ、これからも、持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでいきます。



※2001年度より連結売上高を、2021年度より「収益認識に関する会計基準」などを適用した後の数値を記載しています。

Philosophy 理念体系

亀田製菓の理念は、創業者・古泉榮治の「食を通じて人々の暮らしに喜びと潤いを届けたい」という想いに始まります。利益のみを目的とせず、会社の永続とお米の価値創造、社員が学び合う組織づくりを重視する精神は、社是「製菓展道立己」に象徴されています。この経営哲学は、今も当社の意思決定を支える原点であり強みです。



1960年頃
創業者　古泉榮治

理念体系

創業の心

戦後間もない食糧難の時代に「男性はどぶろくで気晴らしが出来るが、
女性や子供には楽しみといえるものがない。なにか生活に喜びと潤いを届けたい」
という想いから未経験の水飴づくりに挑戦しました。それが創業の心となり、亀田製菓は生まれました。

社是

製菓展道立己（せいかてんどうりっき）

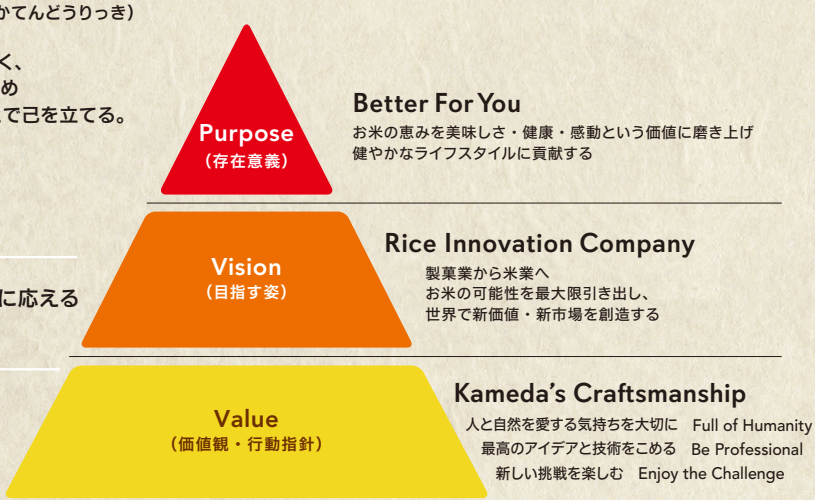
菓子の製造販売を業として、その道を展く、
即ち製造技術、商品開発、市場開拓を始め
経営諸般の研鑽に努め伸展をはかることで己を立てる。
己とは会社そのものであり、
会社を構成する社員個々であります。
共に、社会的、経済的地位を
向上させようと考えるのであります。

経営理念

1. 会社にまつわるすべての者の要望に応える
1. 会社の永劫の存続をはかる

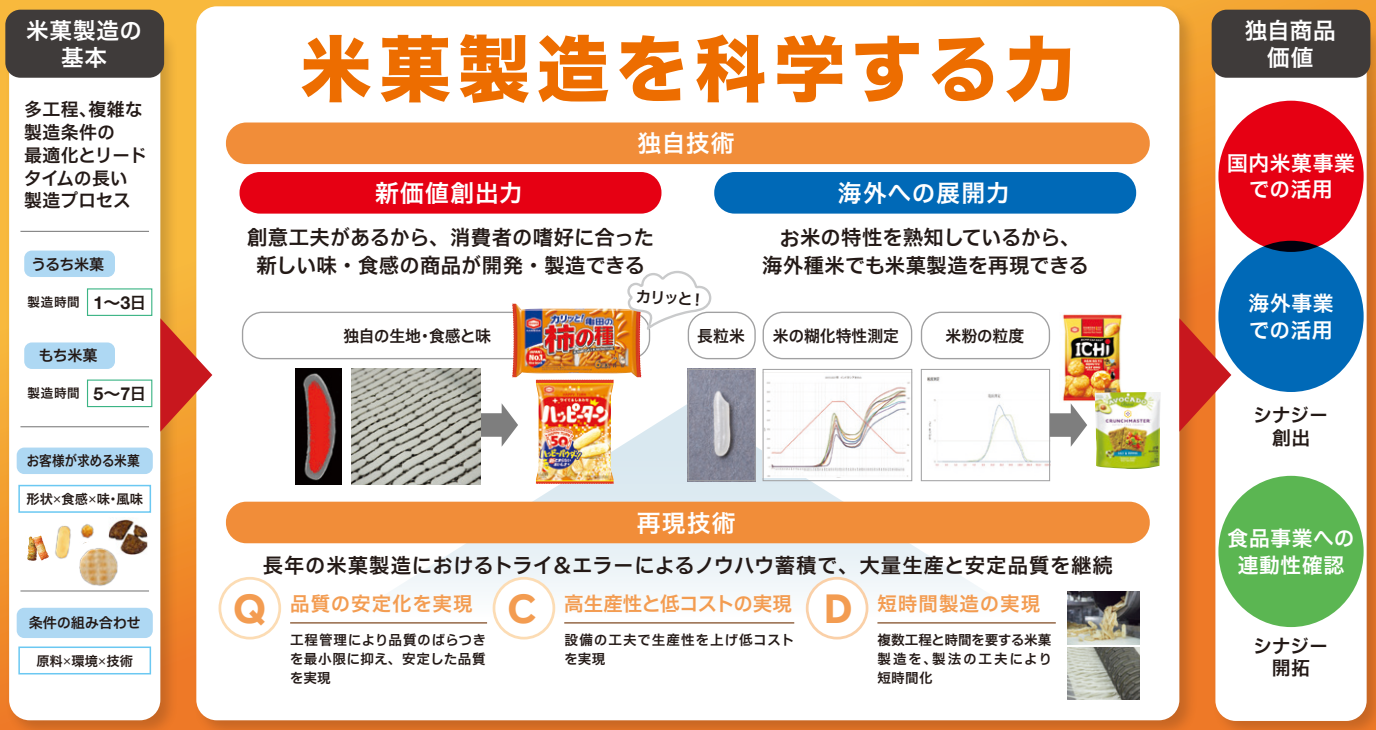
経営基本方針

1. 民主経営で行く
1. 会社を私物化しない
1. 計画経営に徹する



亀田製菓グループのコアコンピタンス

亀田製菓グループは、「Rice Innovation Company」の実現に向け、コアコンピタンスの本質を明確化しました。亀田製菓が長年培ってきた強みを「米菓製造を科学する力」と整理し、グループの価値創造を支えるコアコンピタンスとして位置付けています。詳細は「統合報告書 2026」P.12～13をご参照ください。



会社情報（2026年11月1日現在）

当グループには多彩な企業が存在し、それぞれが独自の強みを持っています。
私たちはその総合力を活かし、ALL KAMEDAで「Rice Innovation Company」を目指していきます。

海外のネットワーク

中国

青島亀田食品有限公司

2003年に設立。日本向け米菓の製造および中国国内向けに米菓の製造販売を行っています。



アメリカ

TH FOODS, INC.

2025年に持分法適用関連会社から連結子会社化。
「うす焼」タイプのグルテンフリーライスクラッカーなどを製造・販売しています。



※当グループには、TH FOODS, INC.の100%子会社 Watch City Properties, LLC.も含まれます。

ベトナム

THIEN HA KAMEDA, JSC.

2013年にジョイントベンチャーとして設立、2021年に連結子会社化。ベトナム国内および近隣諸国に向け、揚げ米菓『ICHi』の製造販売を行っています。



タイ

Singha Kameda (Thailand) Co., Ltd.

2020年に連結子会社化。
豪州や北米、日本など、世界に向けたクロスボーダー取引拠点として、米菓の製造販売を行っています。



※2009年に連結子会社化したTHAI KAMEDA Co., Ltd.は清算手続きを進めています。

アメリカ

KAMEDA USA, INC.

2008年に設立。北米向けクロスボーダー取引の販売会社としての役割を担っています。

カンボジア

LYLY KAMEDA CO., LTD.

2018年にジョイントベンチャーとして設立し、連結子会社化。PepsiCo ANZ Holdings Pty Ltd. のグループ会社向けに米菓などのOEM供給を行っています。



国内のネットワーク

● 国内米菓事業　● 海外事業　● 食品事業　● その他

日本　新潟県

亀田製菓株式会社





新潟県

株式会社タイナイ

アレルギー特定原材料等29品目不使用の米粉パン・玄米パンなどの製造販売を行っています。



新潟県

アジカル株式会社

お土産用やテーマパーク向け、ノベルティ商品など、多様なチャネル向けに米菓の製造販売を行っています。



新潟県

新潟輸送株式会社
亀田トランスポート株式会社
株式会社エヌ.エイ.エス

当社商品を含む菓子共配をコア事業とした物流サービスを行っています。



福井県

株式会社マイセン
株式会社マイセンファインフード

玄米などの通信販売事業およびプラントベースフードの製造販売を行っています。



大阪府

とよす株式会社

創業明治35年（1902年）。『かきたねキッチン』などの百貨店向けブランドを展開しています。



栃木県

株式会社日新製菓

高級スーパーマーケット向けや贈答用米菓の製造販売を行っています。



三重県

株式会社マスヤ*

2022年に資本業務提携。2023年に持分法適用関連会社となりました。50年以上の歴史を誇るロングセラーブランド『おにぎりせんべい』などを展開しています。



東京都

尾西食品株式会社

アルファ米・パン・ライスクッキーなど長期保存食の製造販売を行っています。



（注）＊印は、持分法適用関連会社です。

亀田製菓グループを支える事業（2026年3月31日現在）

当グループは、お米の恵みを美味しさ・健康・感動という価値に磨き上げ健やかなライフスタイルに貢献するBetter For You企業となるために、挑戦し続けています。

国内米菓事業

幅広い流通網で網羅的に展開
すべての生活者にさまざまな米菓価値提供

事業別売上高 **72,309**百万円
事業別営業利益 **5,139**百万円
営業利益率 **7.1**%

重点6ブランド 66.2%※

※亀田製菓単体米菓売上高比率



海外事業

米菓を中心に世界の
お客様ニーズに応える商品の提供

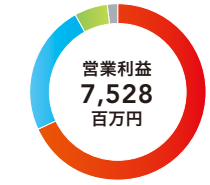
事業別売上高 **49,477**百万円
事業別営業利益 **1,792**百万円
営業利益率 **3.6**%





売上高構成比率

国内米菓事業	52.4%
海外事業	35.8%
食品事業	6.4%
その他	5.4%



営業利益構成比率

国内米菓事業	68.3%
海外事業	23.8%
食品事業	6.0%
その他	1.9%

食品事業

米の加工技術・機能性を活用した
付加価値の高い食品・機能性素材を提供



事業別売上高 **8,820**百万円
事業別営業利益 **451**百万円
営業利益率 **5.1**%

その他（貨物運送等）

当社商品を含む菓子共配を
コア事業とした物流サービスを展開



事業別売上高 **7,445**百万円
事業別営業利益 **143**百万円
営業利益率 **1.9**%

サステナビリティ経営の推進

「変化」と「イノベーション」で、バリューチェーン全体を通じてサステナブルな社会に貢献。
戦略実行を通してリスクの軽減と機会を獲得し、「Rice Innovation Company」へ進化。

マテリアリティの取り組みと進捗 フルバージョン
https://www.kamedaseika.co.jp/wp-content/uploads/2026/10/materiality_JP_2026.pdf

マテリアリティ（重要課題）と主要KPI

Better For Youの食を通じた健やかなライフスタイルへの貢献

喜び・潤い、健康、おいしさ、感動、安全・安心、食文化、食の多様性

（2030年度目標）	
米菓を世界へ、お米を未来へ（グローバル事業の拡大とミライベイカの商品ラインアップ拡充）	
販売商品の塩分相当量の削減	15%削減（2021年度比）
食品事業の海外売上高比率拡大	15%
アレルゲンフリー、ハラル・コーシャ対応	

環境に配慮したものづくり

環境負荷低減、環境資源保全、脱プラスチック

（2030年度目標）	
温室効果ガス総排出量削減	40%削減（2017年度比）
水使用量削減	10%削減（2017年度比）
プラスチック使用量削減	30%削減（2017年度比）

持続可能な調達活動

人権尊重、安定調達、食糧不足対応

（2030年度目標）	
主要原材料の分散調達シナリオ策定	
プラントベースフードの拡大	
RSPO認証パーム油比率	100%

人的資本経営

健康経営、DE&I、人材育成

（2030年度目標）	
セルフケア・ラインケアの充実	
女性管理職・監督職比率	30%
人材育成投資の推進	2.4倍以上（2021年度比）

亀田製菓らしいガバナンス

コーポレートガバナンスの強化
リスクマネジメントの徹底

（2030年度目標）	
取締役会の適正な運用を通じた企業価値向上	
リスクマップによる見える化と対策の実施	
情報セキュリティの体制強化	

地域社会との調和

地域雇用拡大、
地域農業との連携、食育

（2030年度目標）	
海外拠点の人員拡大	2,500名
新潟県産米100%の米粉パン拡充	950トン
食を通じたコミュニケーションの推進	

（注）上記マテリアリティは6つのカテゴリー・19の具体的課題に取りまとめています。

会社概要

数字で見る亀田製菓グループ

※集計範囲：亀田製菓および連結子会社
（2026年3月31日現在）

財務

売上高
138,052百万円

営業利益
7,528百万円

売上高営業利益率
5.5%

EBITDA
17,995百万円

EBITDAマージン
13.0%

ROE
27.6%

ROIC
4.1%

非財務

国内米菓市場でのシェア※
32.5%

※株式会社インテージ「SRI+」（全国小売店パネル調査）より算出しています。
なお、算出範囲は、当社および国内連結子会社

グループ会社
20※社
（2026年11月1日現在）

連結子会社 18社（国内10社 海外 8社）
持分法適用関連会社 2※社（国内 1社 海外1※社）

※2026年9月開催の取締役会において、持分法適用関連会社（海外）1社の保有全株式を譲渡することを決議しています。

発売から50年以上のロングセラーブランド数
7ブランド



総売上高50億円以上のブランド数
4ブランド



特許権利保有数
51件（国内 22件 / 海外 29件）

商標権利保有数
1,047件（国内 867件 / 海外 180件）

亀田製菓について（2026年11月1日現在）

商　号	亀田製菓株式会社
創　業	1946年9月
設　立	1957年8月
資本金	19億46百万円

主な事業内容（連結）

米菓、長期保存食、植物性乳酸菌、米粉パン、プラントベースフードなどの菓子・食品の製造販売

工 場（単体）

亀田工場（新潟県新潟市江南区）
水原工場（新潟県阿賀野市）
白根工場（新潟県新潟市南区）

従業員数（2026年3月31日現在）

連結 4,533名／単体 1,404名

営業拠点（単体）

全国3営業部7支店（仙台・東京・名古屋・大阪・福岡）

役員

代表取締役会長	ジュネジャ レカ ラジュ
代表取締役社長	髙木 政紀
専務取締役	小林 章
常務取締役	古泉 直子
社外取締役	伊藤 好生
社外取締役	金井 孝行
社外取締役	井植 敏雅
社外取締役	尚山 勝男
社外取締役	内田 和成
常勤監査役	田辺 真理
常勤監査役	佐々木 淳
社外監査役	伊藤 彰浩
社外監査役	藤井 佳子

より詳細な情報は下記ウェブサイトをご覧ください。

統合報告書



https://www.kamedaseika.co.jp/ir/library/integrated-report/

サステナビリティ



https://www.kamedaseika.co.jp/sustainability/

IR情報



https://www.kamedaseika.co.jp/ir/

亀田製菓株式会社
本　　社　〒950-0198 新潟県新潟市江南区亀田工業団地3丁目1番1号
東京オフィス　〒104-0042 東京都中央区入船3丁目3番8号 ヒューリック築地イーストビル2階・3階・4階